（仮称）いぬやまワン（わん）チームプロジェクト〔原案〕

※各プロジェクトには以下の内容に加え「重点事業」「関連事業」「評価指標」を設定します。

プロジェクト１　子ども・若者が、自分らしく育ち、未来を描ける犬山

■ 設定の考え方・目的

- 子どもや若者が、年齢や家庭環境などにかかわらず、犬山市で育ち、学び、遊び、挑戦し、自分らしい将来を描くことができる環境を整える。
- 環境整備は、学校や家庭だけで完結させず、地域、企業、団体、大学などとの関わりや、市内外の多様な学び・体験の機会を活かし、次世代の可能性を広げる。

■ 目指す姿

- 子どもや若者が地域とのつながりを感じながら、自分の関心や可能性を伸ばし、将来の進路や生き方を選ぶことができる。
- すべての子育て家庭が孤立せず、必要な支援やサービスにつながることができる。

【参考】

➢ 主に含む施策や領域

子育て・保育、教育、子どもの居場所や相談、読書・体験・スポーツ、子どもの安全、若者の社会参加など。

➢ 該当する総合計画（前期基本計画）に位置づけられている「取組みの方向性」

基本目標１　誰もが育ち、楽しみ、活躍できるまちへ

1-1 子育て	充実した保育サービスの提供
1-1 子育て	子育てと女性の活躍応援
1-1 子育て	青少年の悩み相談の充実と支援
1-1 子育て	子育て家庭への相談及び支援の充実
1-1 子育て	子育て世代への包括的な支援
1-2 教育	「自ら学ぶ力」を育む学びの環境の整備
1-2 教育	「犬山読解力」の向上
1-2 教育	子どもの読書環境の充実
1-2 教育	幼保小連携の推進
1-2 教育	一人一台端末を活用した学びの充実
1-2 教育	個人に応じた環境整備
1-3 生涯学習	平和教育、平和啓発の推進

基本目標３　人にも地球にもやさしいまちへ

3-1 住環境・インフラ	魅力ある公園づくり
3-2 安全・安心	児童の登下校時の安全確保

プロジェクト２　働く・学ぶ・挑戦できる犬山

■ **設定の考え方・目的**

- 働く、学ぶ、起業する、農業や商工業に取り組む、地域で活動するなど、一人ひとりが自分の力を発揮できる選択肢を広げる。
- 市内の雇用や事業者を支えるとともに、大学、企業、関係機関などとのつながりも活かし、犬山市で暮らしながら多様な機会にアクセスできる環境をつくる。

■ **目指す姿**

- 年齢や立場にかかわらず、働く・学ぶ・挑戦する機会に出会い、能力を発揮し、地域や経済の活力につなげられる。
- 企業や事業者など様々な場面や分野で安定した人材・技術の確保が可能となり、持続的に活動できる。

【参考】

➢ 主に含む施策や領域

商工業・企業立地・創業支援、人材確保とＤＸ、農業の担い手育成、生涯学習、図書館や文化芸術・スポーツ等のうち、学びや活動機会の拡大が主目的となる取組、社会参加・就労支援など。

➢ 該当する総合計画（前期基本計画）に位置づけられている「取組みの方向性」

基本目標１　誰もが育ち、楽しみ、活躍できるまちへ

1-3 生涯学習	時代に合った生涯学習支援体制の確立
1-3 生涯学習	文化芸術活動の推進
1-3 生涯学習	スポーツ環境の整備
1-3 生涯学習	図書館の充実
1-5 健康・福祉	社会活動への参加促進

基本目標２　誰もが育ち、楽しみ、活躍できるまちへ

2-1 農業	認定農業者の育成
2-1 農業	農業者の確保、育成
2-2 商工業	中小企業者支援体制の充実
2-2 商工業	製造業の企業立地促進
2-2 商工業	企業誘致等の推進
2-2 商工業	市内企業、事業者の流出防止
2-2 商工業	創業・起業への支援
2-2 商工業	人材確保と DX の推進
2-3 観光	域内循環型の観光産業確立

計画の実現に向けて

市民参画と交流、協働	各事業を通じた交流の促進
市民参画と交流、協働	民間主体の都市間交流活動の促進
市民参画と交流、協働	市民活動、地域活動の支援及び協働の促進
市民参画と交流、協働	ジェンダー平等の推進
市民参画と交流、協働	多文化共生の地域づくり

プロジェクト３　日々の暮らしが続いていく犬山

■ 設定の考え方・目的

- 人口減少が進むなかでも、住まい、移動、買い物、医療・福祉、上下水道、安全など、日々の生活に必要な機能を確保し、市民が毎日の暮らしを営み続けられる状態をつくる。すべての施設やサービスを市内にそろえることを前提とせず、市内で確保する機能、市外の施設・サービスへのアクセス、民間サービス、地域の活動などを組み合わせる。
- 行政、民間、地域、個人がそれぞれの役割と責任を果たし、必要に応じて補い合える環境を整える。

■ 目指す姿

- 市民が必要な生活機能を利用でき、日常生活を無理なく営める。
- 機能の確保方法は、市内施設の整備だけでなく、広域アクセス、民間サービス、地域の仕組みなど、地域の実情に応じて柔軟に選択されている。

【参考】

➢ 主に含む施策や領域

住環境・空き家、道路・上下水道、公共交通、買い物等の利便性、健康・福祉、救急医療、防災・消防・防犯・交通安全、生活環境など。

➢ 該当する総合計画（前期基本計画）に位置づけられている「取組みの方向性」

基本目標１　誰もが育ち、楽しみ、活躍できるまちへ

1-3	生涯学習	消費者の保護・育成
1-5	健康・福祉	生活習慣病の発症予防と重症化予防のための健康管理の徹底
1-5	健康・福祉	健康的な生活習慣の保持・増進に向けた取組み
1-5	健康・福祉	市民の健康を支えるネットワークづくりと環境づくり
1-5	健康・福祉	くらし自立サポートセンターの充実
1-5	健康・福祉	重層的支援体制整備
1-5	健康・福祉	安心できる暮らしの継続と生きがいづくり
1-5	健康・福祉	介護予防の推進
1-5	健康・福祉	地域における包括的・継続的なマネジメント
1-5	健康・福祉	介護保険サービスの充実
1-5	健康・福祉	障害福祉サービスの提供

基本目標３　人にも地球にもやさしいまちへ

3-1	住環境・インフラ	新たな住宅用地の確保
3-1	住環境・インフラ	調和型コミュニティ形成拠点等における住宅の立地緩和
3-1	住環境・インフラ	空き家の適切な管理
3-1	住環境・インフラ	安全で便利な道路網の形成
3-1	住環境・インフラ	新市街地の形成と買い物等の利便性の向上
3-1	住環境・インフラ	道路の適切な維持管理

3-1 住環境・インフラ　地域中心の公園活用
3-1 住環境・インフラ　水道施設の更新、適切な維持管理
3-1 住環境・インフラ　下水道等の計画的な改築・更新、適切な維持管理
3-1 住環境・インフラ　生活環境の保全
3-1 住環境・インフラ　公共交通ネットワークの形成
3-1 住環境・インフラ　公共交通を利用しやすい環境整備
3-2 安全・安心　消防体制の強化・充実
3-2 安全・安心　住宅防火対策の推進
3-2 安全・安心　土石流・急傾斜地対策等の推進
3-2 安全・安心　雨水排水路整備
3-2 安全・安心　防災体制の充実
3-2 安全・安心　建築物の耐震化の促進
3-2 安全・安心　地域防災力の向上
3-2 安全・安心　防犯活動の推進
3-2 安全・安心　防犯環境の充実
3-2 安全・安心　交通安全運動の推進
3-2 安全・安心　交通安全環境の充実
3-2 安全・安心　救急医療等の充実
3-2 安全・安心　救急・救助体制の充実
3-2 安全・安心　組織の体制整備と感染症への対応強化と知識の普及啓発
3-3 低炭素・循環型・自然共生　3R の推進
3-3 低炭素・循環型・自然共生　創エネ・省エネ・蓄エネ設備の導入推進
3-3 低炭素・循環型・自然共生　適正なごみ処理体制の確保

計画の実現に向けて

市民参画と交流、協働　外国人市民へのコミュニケーション・生活支援
シティプロモーション　移住・定住支援の充実

プロジェクト４　犬山らしい歴史・文化・自然を守り、暮らしと交流と産業に活かす犬山

■ 設定の考え方・目的

- 犬山固有の歴史、文化、自然、農産物、景観などを守り、学びや日々の暮らし、地域への愛着、来訪者との交流、観光や産業の価値につなげる。
- 保存と活用の双方を意識し、地域や所有者、事業者、市民などの担い手とともに、価値を高めながら次世代へ継承する。

■ 目指す姿

- 犬山らしい資源が地域の誇りや学び、暮らしの豊かさ、交流、観光・産業の持続的な価値を生み、担い手とそこでの利益が、地域に広がりながら次世代へ引き継がれている。

【参考】

- 主に含む施策や領域

  歴史文化資源、文化芸術、農業・農産物・地産地消、観光、景観、自然環境などのうち地域資源の価値を守り活かす取組など。

- 該当する総合計画（前期基本計画）に位置づけられている「取組みの方向性」

  基本目標１　誰もが育ち、楽しみ、活躍できるまちへ

  1-4 歴史文化　歴史文化資源の保存、活用の推進
  1-4 歴史文化　歴史的風致の維持、向上
  1-4 歴史文化　歴史的建造物の保護、保全
  1-4 歴史文化　犬山市の歴史文化を知る・学ぶ機会の提供
  1-4 歴史文化　歴史文化に関する自主的活動の支援

  基本目標２　誰もが育ち、楽しみ、活躍できるまちへ

  2-1 農業　市内農産物のブランディングの推進
  2-1 農業　農業にふれ親しむ機会の確保
  2-1 農業　農地の活用
  2-1 農業　農産物への被害防止対策
  2-1 農業　地産地消の推進
  2-1 農業　土地改良施設改修
  2-3 観光　資源発掘・創造ブランド形成
  2-3 観光　景観・インフラの整備
  2-3 観光　市民と観光客の共存・調和の推進
  2-3 観光　滞在・体験型観光の充実
  2-3 観光　広域連携による周遊観光の構築

  基本目標３　人にも地球にもやさしいまちへ

  3-3 低炭素・循環型・自然共生　自然環境の保全
  3-3 低炭素・循環型・自然共生　動植物の生息・生育環境の保全

  計画の実現に向けて

  シティプロモーション　シビックプライドの醸成
  シティプロモーション　魅力の発掘、磨き上げ、創出

プロジェクト５　次の世代につなぐ、持続可能な犬山

■ 設定の考え方・目的

- 人口減少や財政制約が進むなかでも、必要な行政サービスや地域の機能を将来にわたって維持・発展させるため、人材、資金、施設、知恵、情報、地域のつながりなど、犬山市にある多様な資源を有効に活かす。
- 行政は、課題と資源を把握し、官民の役割分担、広域連携、協働、DX、公共施設マネジメント、財源確保などの環境や仕組みを整え、多様な主体がそれぞれの強みと責任を発揮して実際の活動やサービスを担えるよう促進する。

■ **目指す姿**

- 行政がすべてを直接担うのではなく、行政が地域の資源を把握・組合せ・活用を促進し、市民、地域、企業、団体、近隣自治体などがそれぞれの役割を果たす。
- 限られた資源が必要なところに活かされ、将来世代に必要な機能や選択肢を引き継ぐことができる。

【参考】

- 主に含む施策や領域

  行財政運営、財源確保、職員・組織、DX・ICT、公共施設マネジメント、広域連携、情報公開・広聴、市民参画・協働、地域活動の担い手、多文化共生、シティプロモーションなど。

- 該当する総合計画（前期基本計画）に位置づけられている「取組みの方向性」

  基本目標１　誰もが育ち、楽しみ、活躍できるまちへ

1-1 子育て	施設の計画的な維持管理・更新
1-1 子育て	施設の計画的な維持管理・更新（子ども未来園）
1-2 教育	施設の計画的な維持管理・更新
1-3 生涯学習	施設の計画的な維持管理・更新
1-5 健康・福祉	施設の計画的な維持管理・更新

  基本目標３　人にも地球にもやさしいまちへ

3-2 安全・安心	施設の計画的な維持管理・更新（消防）

  計画の実現に向けて

行財政運営	適切な行政運営
行財政運営	広域連携
行財政運営	職員の資質向上
行財政運営	DX・ICT 等の最新技術の研究・導入
行財政運営	自主財源の確保
行財政運営	計画的かつ効率的な財政運営
行財政運営	公共施設マネジメント
市民参画と交流、協働	情報公開の推進
市民参画と交流、協働	広聴活動の充実
シティプロモーション	インナープロモーション（市内への情報発信）
シティプロモーション	アウタープロモーション（市外への情報発信）
シティプロモーション	都市のブランディング